

# 新しいスタイルへの試み



# いりり通信

第21号  
発行元  
入谷小CS推進  
委員会編集部



ホームページ  
へのQRコード



演技者同士触れずに引っ張る。



等間隔を開けた隊形でダンス



朗読は前後の位置を交代します。



写真は「入谷打囃子」



朗読と合奏を組み合わせ

観客の席を離して「密接」を避けます。



今回の学芸会では、飛沫の飛散防止をしながら子供たちの顔が見えるように「透明マスク」を使用しました。

10月17日(土)午前8時40分より令和2年度入谷小学校「学芸会」が開催されました。コロナ禍にありさまざまなイベントやスポーツの大会等が中止となる中で『新しい生活様式』に対応した形に配慮しながら行うために工夫を凝らし開催しました。お家の方々や地域の皆様に子供たちの輝く姿を見ていただけたと思います。多くの方々から御覧いただきありがとうございます。各家庭からの人数制限を行わないための対応に御協力をいただきありがとうございます。椅子を準備して客席の間隔をとる。演技する児童の間隔はもちろん演技中も相手に触れない。密閉した空間とならないよう換気の時間を設定する。観客が密にならないために関係する児童が演技しない時は、観客が控室に移動するなどの措置を講じました。参観したお家の方からは「例年とは違う様式でしたが、物足りなさもなく、観覧者への配慮も適切かつ丁寧でした。お陰様で、いつもよりもゆつくりと静かに見ることが出来て、とても良かったです。」等の言葉をいただきました。コロナ禍にあっても学校と家庭、地域が連携を取り合って輝く子供たちを育てていければと思います。

子供達の成長を支えるために



1年生は校内の防災設備を学習



2年生は校外の防災設備を学習



5・6年生は避難の仕方と心得を学習



3・4年生は消防署の仕事を学習

10月9日(金)3校時に消防署の方にゲストティーチャーをお願いして入谷っ子少年消防クラブ『防災教室』を行いました。避難訓練(原子力災害)の後に行われ、入谷小学校では、少年消防クラブ発足後3回目になります。1・2年生では、学校内や地域の消防設備について3・4年生では、消防署員の仕事内容と消防施設、5・6年生は災害時の避難やその心掛けについて学習しました。消防署と学校が話し合い、子供たちの発達段階等を考慮して学習内容を決めていきます。署員の方から、一つ一つ丁寧に指導をしていただきました。子供たちは、専門家のお話を真剣に聞いていました。何か災害が起きたら、「まず自分の命を守る」ことが大事です。今回の教室で学習したことが生かせるよう安全の意識を高めていきます。

まず、「自分の命を守ること！」



## 今年は豊作だ！

10月13日(火)2・3校時に5年生が総合的な学習の時間で稲刈り体験を行いました。稲作体験は、学校運営協議会委員の山内敏裕さんご夫婦の指導で行われています。当初、5日(月)に行われるはずでしたが天候不順により3度延期になり、やっと実施にこぎつけました。子供たちの祖母4人も応援に駆けつけ、稲刈りの仕方を見せられました。山内さんからは「今までで一番の収穫量だった。」とお話があり、5年生の手際のよさが発揮された体験となりました。



5年生のお家の方々に協力をいただきました。

